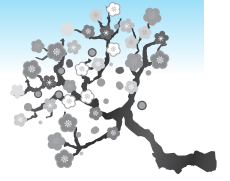


# 新しい議会構成に



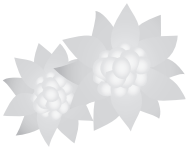
令和4年11月定例会において、会派等、常任委員会、議会運営委員会、議会広報広聴委員会の変更がありました。

## 総務委員会

【所管】総務部、企画調整部、市民生活部、地域振興部、国スボ・全障スボ推進部、監査委員、選挙管理委員会等の所管事務、他の常任委員会の所管に属さない事務

◎委員長 ○副委員長(令和4年12月23日 現在)

◎宮崎 富永  
○藤田 佳典  
○中村 宏志  
○重松 徹  
○堀倉 正之  
○白倉 和子  
○江頭 弘美  
○黒田 利人

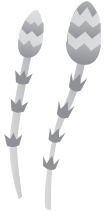


## 福祉教育委員会

【所管】保健福祉部、子育て支援部、教育委員会、富士大和温泉病院の所管事務

◎委員長 ○副委員長(令和4年12月23日 現在)

◎村岡 卓  
○西岡 真一  
○諸富 八千代  
○川崎 健二  
○松永 憲明  
○川副 龍之介  
○福井 章司  
○重田 音彦  
○山下 明子



## 経済産業委員会

【所管】経済部、農林水産部、農業委員会、交通局の所管事務

◎委員長 ○副委員長(令和4年12月23日 現在)

◎美松 尊信  
○江原 新子  
○中島 妙子  
○江口 善己  
○高田 弘展  
○洋行 高田  
○御厨 洋行  
○松永 幹哉  
○千綿 正明  
○中野 茂康



## 建設環境委員会

【所管】建設部、環境部、上下水道局の所管事務

◎委員長 ○副委員長(令和4年12月23日 現在)

◎永瀨 史孝  
○久米 勝也  
○山田 誠一郎  
○平原 嘉徳  
○山口 弘展  
○川原 裕明  
○野中 宣明  
○嘉村 弘和  
○西岡 義広



## 会派等

◎代表者 ○副代表者(令和4年12月19日 現在)

◆会派  
自由民主党 14人  
◎福井 章司  
○川副 龍之介  
○西岡 義広  
○嘉村 弘和  
○千綿 正明  
○江頭 弘美  
○堀 正之  
○重松 徹  
○松永 幹哉  
○永瀨 史孝  
○宮崎 健  
○江原 新子  
○川崎 健二  
○稲葉 高広

緑楠自民 6人  
◎山口 弘展  
○美松 尊信  
○黒田 利人  
○中野 茂康  
○重田 音彦  
○川原 裕明  
○山田 誠一郎  
○松永 憲明  
○久米 勝也  
○富永 明美  
○江口 善己  
○藤田 佳典  
◎村岡 卓

◆会派に準ずるクラブ等  
○中村 宏志  
○野中 宣明  
○中島 妙子  
○西岡 真一  
○平原 嘉徳  
○御厨 洋行  
○さが未来 1人  
○白倉 和子  
○山下 明子  
○佐賀みりの会 1人  
○諸富 八千代

## 議会運営委員会

【所管】議会の運営、議長の諮問、会議規則、委員会条例等に関する事

◎委員長 ○副委員長(令和4年12月23日 現在)

◎山口 弘展  
○松永 憲明  
○西岡 真一  
○村岡 卓  
○山田 誠一郎  
○宮崎 健  
○松永 幹哉  
○重松 徹  
○江頭 弘美  
○川原 裕明

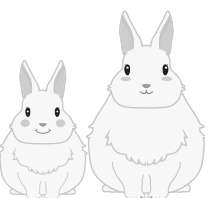


## 議会広報広聴委員会

【所管】議会報告会、議会広報誌、ほか広報・広聴に関する事

◎委員長 ○副委員長(令和4年12月20日 現在)

◎永瀨 史孝  
○山下 明子  
○中島 妙子  
○藤田 佳典  
○江口 善己  
○諸富 八千代  
○稲葉 高広  
○西岡 真一  
○中野 茂康



# 特別委員会

## 水害対策調査特別委員会

10月11日開催

〔現地視察〕 佐賀市排水対策基本計画の「流す対策」の事業である、平松厘外雨水幹線、準用河川地蔵川、尼寺雨水幹線、城東川雨水幹線で現地視察を行い、市の担当者から整備事業の内容について説明を受け、現状を確認した。なお、尼寺雨水幹線においては、関連する尼寺第2調整池及び尼寺排水機場についても視察を行った。その後庁舎で、地下水路となっている新村愛敬雨水幹線と、新川上流と赤井手川のしゅんせつについて、整備事業の内容及び今後の計画について説明を受けた。



現地視察の様子

10月11日の現地視察等を受け、執行部との質疑応答を行った。

10月18日開催

〔質問〕 尼寺第2調整池は深さが1メートルとのことだが、もう少し深くできなかったのか、また、水がない状態での管理はできないのか。

〔答弁〕 10年に1度の大雨での確率で降水量を計算しており、その数値が3万3千トンであり、必要な深さが1メートルであるため、この深さで整備した。

来年度にはポンプを整備し、施設の中の水を空にする仕組みを考えている。

〔質問〕 平成28年に整備された、平松厘外雨水幹線の整備後は、浸水被害がどれくらい減少したのか。

〔答弁〕 床上浸水について、平成2年は817戸。平成24年は99戸。整備後の平成30年や令和元年7月では、床上浸水はほぼ発生していない。

〔質問〕 しゅんせつに関して、今後の計画は。また、地元からの要望への対応や優先順位などの基準はあるのか。

〔答弁〕 来年度は赤井手川や真手川、今村川のしゅんせつを計画している。地元の要望に対しては、現地で確認した上で自治会と話しながら、しゅんせつができないところは、除草や抜根作業などで対応している。優先順位については、水の流れの状況や地域の要望など、地元と調整しながら実施している。

〔質問〕 矢板を並べて打った工法は工期的に非常に早いとのことだが、そのような工期が短縮できる工法についての検討はしているのか。

〔答弁〕 矢板工法は出水期にも工事ができるため、今年からほかの事業区間でも検討を進めている。このような整備手法を取り入れながら、できるだけ川幅を確保するような工法を優先することを検討している。

行政視察

11月16日(水)

岡山県倉敷市「水害対策について」

倉敷市は、地形的な条件として低平地であることや、市内に水路が張り巡らされている点、内水氾濫への対策では用水路の事前排水や潮位と水門の関係にて事前操作を行うなど、本市と類似している点が多いことから、視察先に選定した。水害対策については、全国で初めて住宅金融支援機構と連携した、防災・減災住宅への補助事業を行うなど、ソフト対策に力を入れていた。



11月17日(木)

兵庫県姫路市「100mm/h安心プラン」

姫路市は、本市も登録している、「100mm/h安心プラン」に、市内を流れる八家川の流域浸水対策プランを登録している。事業の特徴としては、雨水の地下貯留施設や河川の洪水調節池などの大規模なハード事業にて対策を行っていた。

